

令和2年度 学校経営計画書

石川県立能登高等学校
校長 角 秀 明

1 教育目標

個性と能力を伸ばし、積極的に自己の啓発に努める心身ともに健全な人間を育成する。

教育方針

- ① 旺盛な好奇心と豊かな心を備えた、誠実で責任感ある人材を育成する。
- ② 自ら学び行動する意欲を養い、個性・能力・適性に応じた進路の確立に努める。
- ③ ふるさとに誇りを持ち、地域社会の創造・発展に寄与する人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 過疎化・少子化等により入学者数が減少傾向の中、生徒の進路目標の実現と地域社会の活性化に貢献できる生徒の育成に取り組んでいる。
- ② 学力と学習意欲の格差是正のため、基礎・基本の定着を目的とした「わかる授業」の展開に向けて、ICT等を活用した授業改善に取り組んでいる。
- ③ 早期に明確な目標を持たせることにより、自己実現に向けた学習指導体制、進路指導体制の整備・充実に取り組んでいる。
- ④ 心身ともに健全な人間育成のため、基本的生活習慣の確立、規範意識の向上、部活動の活性化、教育相談の充実に取り組んでいる。
- ⑤ ふるさとに対する愛着を高めるため、地域の文化・産業、地域の将来性について考えさせる教育活動に取り組んでいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 生徒の学習意欲を高めるため、家庭学習習慣を確立し、基礎・基本の定着を図り、時代を逞しく生きる「確かな学力」を身につける。
- ② 社会人として求められる基本的な生活習慣と規範意識（マナー、モラル等）の向上を図る。
- ③ 部活動や生徒会活動に積極的に参加し、心身ともに健全な活力に満ちた人間、自己表現ができる能力を育成する。
- ④ 資格取得や検定試験に積極的に挑戦し、社会を逞しく生き抜く意欲と態度を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 生徒の能力・実態に応じた効果的な指導法を研究し、「確かな学力」を身につけさせるために、授業改善に努める。
- ② きめ細かい観察や面談指導を通して生徒理解に努め、組織的・継続的・計画的な生徒指導・進路指導を展開する。
- ③ 生徒とともに部活動や学校行事に積極的に参加し、生徒の努力や活躍を適切に評価して生徒との心の絆を深める。
- ④ ワークライフバランスを考え、業務効率を意識した働き方改革を進める。

3 今年度の重点目標

- ① 地域（生徒・保護者）の期待と信頼に応える学習指導と進路実現を達成するため、家庭学習習慣を確立し、「確かな学力の育成」を図る。
- ② 安全・安心な学校づくりの推進による「規範意識・公共心等の醸成」と、変化する社会に対応できる精神的な逞しさを備えた「人間力の育成」を図る。
- ③ 部活動の強化と生徒会活動の活性化を進めるとともに、教職員の多忙化改善に取り組み、「生徒と向き合う時間の確保」を図る。
- ④ 地域における6次産業の担い手として、「地域産業の振興に貢献できる人材の育成」を図る。